



ルートインBCリーグ

Baseball Challenge League

インパクトレポート 2025



Contents

I. ルートインBCリーグの社会貢献

- 1. BCリーグの運営理念 3
- 2. 運営会社のミッション・ビジョン 4
- 3. BCリーグのこれまで 5
- 4. BCリーグの社会貢献における軸 6

II. 社会貢献の取り組みと共創事例

- 1. ルートインBCリーグの社会貢献活動実績 7
- 2. 地域コミュニティ貢献へのチャレンジ 8-11
- 3. キャリアデザイン支援へのチャレンジ 12-14
- 4. 地域経済貢献へのチャレンジ 15
- 5. 野球界への人材輩出のチャレンジ 16
- 6. 2026年度シーズンに向けて 17

ルートインBCリーグ 地域と人を育むリーグとして



株式会社ジャパン・ベースボール・
マーケティング
代表取締役会長
村山 哲二

本年、BCリーグは20周年という節目を迎えました。

創設以来、私たちは地域に根差した独立リーグとして、野球そのものの強化にとどまらず、地域社会や子どもたちに新たな価値を提供することを大切に取り組んでまいりました。

また、所属する選手・スタッフが次のステップへと羽ばたくための人材育成もリーグの重要な使命と考えています。

今回のインパクトレポートは、こうした歩みとこれからの挑戦を改めてお伝えし、20年の感謝と未来への決意を共有する機会として作成いたしました。

これからも地域とともに成長し、新しい可能性を切り拓いてまいります。

BCリーグのコンセプトと運営理念

コンセプト

ふるさとの全カプロ野球

運営理念

野球を通じて、地域の方々に夢と感動を与える

BCリーグは、私たちが少年時代に首都圏の野球場で味わった夢と興奮の舞台を、生まれ育った地で創造し、低迷する野球人気を地域から復活させ、それを全国に拡げることによって子供たちに本物の野球のすばらしさを伝えたいという思いが出発点となって発足しました。

その生まれ育った地域における唯一無二のプロ野球チームを、地域が一体となって支え、応援する。選手もチームも、地域に溶け込み、地域の人々から愛され、励まされ、それを誇りとしてプレーし、一方、地域の方々もチームを応援することを楽しみとし、チームを誇りに思う。

BCリーグは、そんな「ふるさとのプロ野球」に共感し応援してくださる地域の方々に「夢」と「感動」を与え続けるリーグ運営を目指します。



運営会社のミッション・ビジョン

Mission

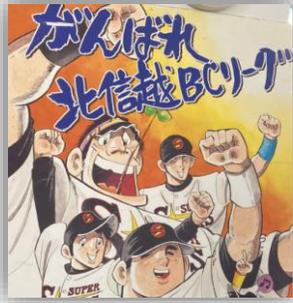
野球を通じて、地域と共に、地域を豊かに

Vision

- 1 「野球」が持つ価値を高め、魅力を伝えます（レガシー）
私たちが見せたいのは圧倒的な全力プレーであり、フェアプレーである。
その質を高め、一人でも多くの方に伝わるよう発信していきます。
- 2 スポーツを産業化させ、地域の経済活性化に寄与します（ビジネス）
スポーツビジネスの確立と市場の拡大を担います。
- 3 人とヒトを繋げ、新しい出会いと活気に溢れる球場を創ります（コミュニティ）
応援する球団や選手、考え方や楽しみ方、野球への関わり方が異なるたくさんの人たちが集い、
その全ての人々がリスペクトし合い、新しい価値観に出会える場を創造します。
- 4 夢を持ち挑戦し続ける人材を育てます（人材育成）
常に目標を持ち、自ら行動することで社会を幸せにできる人材を育成します。
- 5 地域社会が抱える課題と向き合います（地域貢献）
MIKITO AED PROJECTを始めとした地域貢献活動を行い、様々な社会課題の解決に取り組みます。



BCリーグのこれまで



4球団（新潟、信濃、富山、石川）にて北信越BCリーグとして開幕

2007



群馬球団加盟

2008

横浜DeNAベイスターズとの定期交流戦を実施
読売ジャイアンツと公式戦を実施

2012

2015

福島球団、埼玉球団加盟

2015

栃木球団加盟

2017

茨城球団加盟

2019

神奈川球団加盟

2020

累積の観戦者数が300万人を突破

2022

ドラフト会議にて、過去最大の8名をNPBに輩出

2024

山梨球団加盟

2025

千葉球団加盟

2026



2006
リーグ運営会社を新潟市に設立

2008
ミキトプロジェクトの報告記者会見

2014
ルートインジャパン株式会社が命名権を取得し、ルートインBCリーグとして新たなスタートをきる。

2016
リーグ結成10周年記念式典を実施

2022
IPBL選抜としてフェニックスリーグに初参加

2022
セカンドキャリア支援のため、リーグ主催の合同説明会を開催

2024
NPB12球団ジュニアトーナメントに「ルートインBCリーグ ジュニアチーム」として参加

2025
夏の学び体験PJを開始



ルートインBCリーグにおける地域貢献実績



地域コミュニティへの貢献

活動内容

子どもたちへの機会の提供

- ✓ 野球教室、大会の開催、学校への訪問
- ✓ ジュニア育成
- ✓ 夏の体験プロジェクトの開催

地域との共創

- ✓ 地域ボランティア
- ✓ 地域イベントへの協力

⇒詳細は8-11ページ参照

活動参加者数総計
(2025年のみ)

29,479人



選手のキャリアデザイン

活動内容

キャリアサポートセンター

- ✓ アンケートにより選手の希望を確認
- ✓ 企業説明会を開催し、セカンドキャリアパートナー企業とのマッチング

各種研修の実施

- ✓ 現役選手向けに、社会人マナーやビジネススキル研修、コミュニケーション講座などの開催

⇒詳細は12-14ページ参照

企業説明会参加人数

261名参加
(参加率95%)



地域経済への貢献

活動内容

興行を通じた貢献

- ✓ 試合会場での消費活動により貢献
- ✓ 興行に合わせ観光や宿泊などの地域経済の収益向上に貢献

興行以外での貢献

- ✓ 球団スタッフや選手などの雇用による貢献
- ✓ 選手が引退後に地域に残ることによる貢献

⇒詳細は15ページ参照

累計観客動員数
(2025年まで累計)

335万人



野球界への人材輩出

活動内容

成長のための環境整備

- ✓ 実績豊富な指導者
- ✓ ハイレベルな競争環境
- ✓ データ計測会等の取り組み

チャレンジできる実践の場を提供

- ✓ 年間公式戦50~60試合の開催
- ✓ NPBチームとの試合機会の提供
- ✓ ドラフト候補選抜試合9試合の開催
- ✓ 海外リーグとの連携・派遣

⇒詳細は16ページ参照

NPB輩出数実績
(2025年まで累計)

ドラフト：77名
ドラフト外：28名

地域コミュニティ貢献へのチャレンジ

— 子どもたちに対して実施した取り組み総論

地域コミュニティ貢献

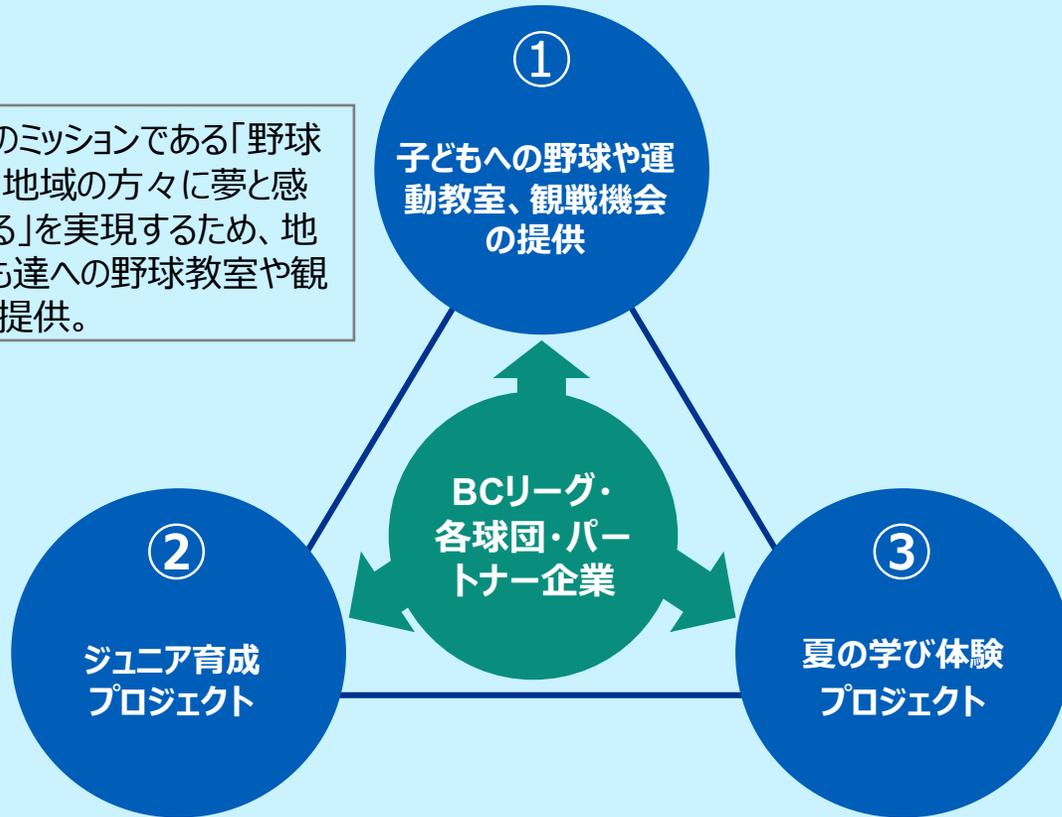
キャリアデザイン支援

地域経済貢献

野球界への人材輩出

3つの個別取組

BCリーグのミッションである「野球を通じて、地域の方々に夢と感動を与える」を実現するため、地域の子ども達への野球教室や観戦機会を提供。



NPBジュニアトーナメントへの出場のためジュニアチームを運営するとともに、ジュニアのパフォーマンス向上を目的としたデータ測定会を実施。

2025年夏より、企業コンソーシアム型で学びの機会を提供する「夏の学び体験プロジェクト」を実施。



地域コミュニティ貢献へのチャレンジ

地域コミュニティ貢献

キャリアデザイン支援

地域経済貢献

野球界への人材輩出

① 野球教室や観戦機会の提供

野球教室



- ✓ 地域のイベントや企業と協働して野球や運動教室を実施。
- ✓ 子どもたちの運動能力向上のみならず、自己肯定感の向上やソーシャルスキルの向上も目指す。

2025年
参加者数

14,708人

大会の開催



- ✓ 各地域の代表的な団体として、埼玉球団や神奈川球団、福島球団などが野球大会やソフトボール大会を主催。
- ✓ 地域の交流活性化や健康促進・スポーツ文化の醸成を目指す。

790人

学校訪問事業



- ✓ 野球指導や運動指導、また、小学校での道徳の授業への参加などのために学校を訪問。
- ✓ スポーツだけではなく、子ども達の人間的成長へ寄与することを目指す。

4,294人

地域コミュニティ貢献へのチャレンジ

②ジュニア育成プロジェクト

地域コミュニティ貢献

キャリアデザイン支援

地域経済貢献

野球界への人材輩出

ルートインBCリーグが挑むジュニア育成とは・・・

ルートインBCリーグでは、「野球を通じて、地域の未来と人を育てる」ことを実現するべく、ジュニア世代への支援を重要なミッションと位置づけています。

私たちが目指すのは、競技力の向上だけでなく、自ら考え努力する力や他者と協働する姿勢など、人間としての成長も含めた“総合的な育成”です。

こうした取り組みを通じて、地域子どもたちが将来それぞれの舞台で力を発揮できるよう、成長のきっかけを提供しています。地域・企業・リーグが一体となって子どもたちの未来を支える仕組みづくりを進めることで、次世代への投資が社会全体の価値向上につながると信じています。



ジュニアチーム

練習や大会中によるパフォーマンス向上だけでなく、チーム活動期間中に一人一人が成長し、将来の野球界発展に貢献できる人材の発掘と育成を目指していきます。



データ測定会

「未来のNPB選手や地域のリーダーを育てたい」、「野球を通じて成長する喜びを知ってもらいたい」という思いから実施しています。測定会を通じて、スポーツ振興や地域貢献を志すパートナー企業や専門家とともに、未来を育む取り組みを拡げたいと考えています。



夏の学び体験プロジェクト

ルートインBCリーグは地域に根ざすプロ野球リーグとして、地域の企業・人材・文化資源と子どもたちの橋渡し役を担うため、さまざまな企業と手を取り合い、学びの機会を提供する「夏の学び体験プロジェクト」を立ち上げました。「地域と企業が先生になる夏休み」を実現することで、社会と子どもたちが繋がるきっかけを作りたい。この想いに共感してくださった企業とともに、企業コンソーシアム型での学びの場を初めて実現しました。

ルートインBCリーグが、君の「知りたい」を全力応援！ 2025 夏の学び体験プロジェクト

～企業とつくる、こどもの探究時間～



ご参加いただいた企業

- 株式会社ダスキン
- 日本航空株式会社
- エイジック株式会社
- デジタルデータソリューション株式会社
- ルートインジャパン株式会社



ルートインジャパン株式会社
運営管理部 山本慎二郎 様

今回の企画に参加した感想をおきかせください。

子どもたちの「やってみたい！」があふれる一日でした。消防訓練や清掃、宿泊体験を通して、ホテルの裏側の面白さを一緒に発見でき、私たちも元気をもらいました。体験を通じて「当たり前の裏側」に気づいてもらったのが嬉しかったです。

印象に残った子どもたちや保護者の反応はありましたか？

初めて触る非常通報装置や消火器に目を輝かせ、避難誘導は真剣そのもの。ベッドメイクは「もう一回！」の声もあり、子どもたちが夢中になっているだけでなく、保護者の皆さまの笑顔と応援がとても心強かったです。

本PJを通じて、今後どのような社会や未来につながってほしいと感じましたか？

「働くって面白い」「誰かの役に立つって嬉しい」そんな気持ちが芽生え、地域で支え合う未来につながってほしいです。体験が、日々の思いやりの一歩になれば幸いです

キャリアデザイン支援へのチャレンジ

－ ルートインBCリーグの取り組み

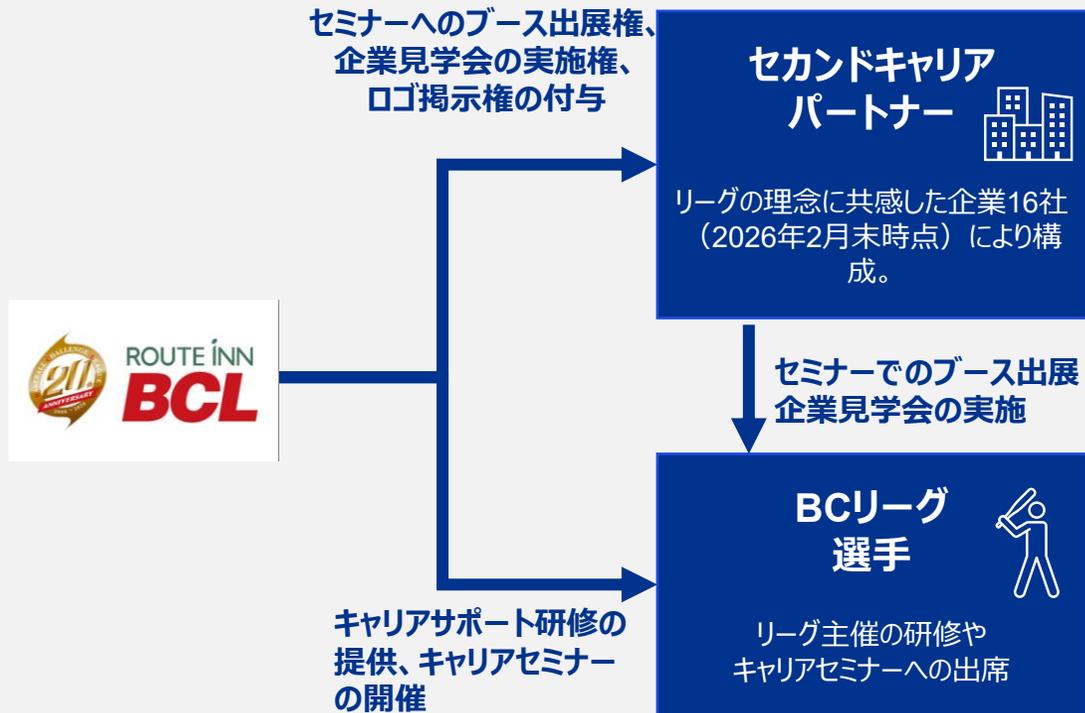
地域コミュニティ貢献

キャリアデザイン支援

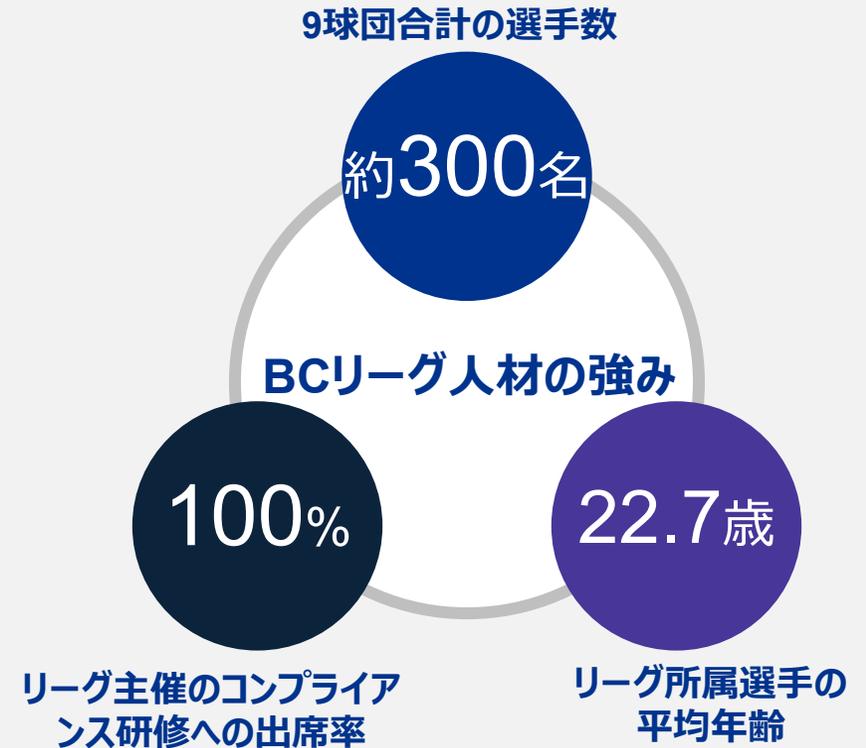
地域経済貢献

野球界への人材輩出

ルートインBCリーグの取り組み



ルートインBCリーグの人材の強み



キャリアデザイン支援へのチャレンジ

－ 事業部長の想い

地域コミュニティ貢献

キャリアデザイン支援

地域経済貢献

野球界への人材輩出



ルートインBCリーグ 事業部部長 植田貫己

「BCリーグが選手のキャリアデザインで目指している姿」

学生時代から真摯に野球へ打ち込んできた選手たちは、その**経験を通じて培われた粘り強さや目標達成意欲**により、社会人としても大きな活躍が期待されます。

たとえNPBやMLBへの道が叶わなかったとしても、次なる挑戦の舞台で輝けるよう、私たちはパートナー企業様と強固な連携体制を構築しています。**将来への不安を解消**することで、選手が迷いなく野球に全てを捧げられる環境を実現しています。

選手アンケートの結果、就職時に「やりがい」を求める選手が多数を占めていることが明らかになりました。私たちは、そんな選手たちが**野球で磨き上げたチャレンジ精神を新たなキャリアの「武器」へと昇華させ**、アスリートの価値を社会へ還元し続けるリーグを目指してまいります。



キャリアデザイン支援へのチャレンジ

ー セカンドキャリアパートナーの想い

地域コミュニ
ティ貢献

キャリアデザ
イン支援

地域経済貢
献

野球界への
人材輩出



ポスト・ライフ株式会社 代表取締役 野田 崇

セカンドキャリアパートナーとして率直なご感想を教えてください

パートナーとなって1年目に1人、2年目に1人、4年目に1人を採用させていただき、現在3人にBCリーガーOBと一緒に働いています。みんな誠実で正直者な青年たちで、会社としてとても良いご縁をいただいたと感じています。

選手に対してプログラムへの参加前後での印象の変化はありますか？

最初は選手もこの取り組みに協力的なのかと思っていましたが、実際はあまり関心を持っていない選手も多くいたことに驚きました。考えてみると、NPBに行くことが第一の目的なのでセカンドキャリアが目的ではないことに気づき、今でなくても良いので一人にでも良いので気持ちに刺さるような事を伝えるようにしました。

貴社にとってどのような価値や意義があったと感じられますか？

3年、5年、10年後の会社の中心となっていく人財と感じており、会社にとって、私にとっての宝物、財産となるべくご縁をいただいたのでとても感謝しています。

地域経済貢献へのチャレンジ

集客と雇用に関する取り組み総論

地域コミュニティ貢献

キャリアデザイン支援

地域経済貢献

野球界への人材輩出



地域経済への貢献

集客

観客動員を基にした地域貢献

- 多くのファンが球場に足を運ぶことにより、球団のみならず、周辺の商業施設への経済波及効果が生まれています。
- また、多くの地元企業がスポンサーとして社名掲出や冠試合を開催しており、それらの企業をBCリーグをハブとして繋げることにより、地域内での経済循環を生み出しています。

雇用

選手雇用や地元就職による価値

- 各球団が選手や職員を雇用することで、地域に一定の雇用を創出しています。
- 引退した選手がその土地で就職することにより、若者の働き手が増加しています。2025年では、リーグ全体で16名の選手が引退後に地元に残り就職をしています。

野球界への人材輩出のチャレンジ

成長のための環境整備と実践の場の提供

地域コミュニ
ティ貢献

キャリアデザ
イン支援

地域経済貢
献

野球界への
人材輩出

成長のための環境整備

これまで実施してきたこと

～野球上達のための基礎環境～

NPBを経験した指導者や選手の存在

- NPB経験指導者は20名（25年度）
- 元NPB選手6名（25年度）、リーグ開幕以来19年連続でNPBへの選手輩出

練習場所の提供

- シーズン中はアルバイトなしでのプロ選手として練習場所を提供

これから注力すること

～テクノロジー活用～

データ計測会の実施

- 2025年に選抜選手を対象にTrackmanを活用し、身体組成や運動体力、運動技能を測定。



成長のための実践の場を提供

これまで実施してきたこと

～NPB球団等との試合経験～

年間公式戦の機会

- リーグ戦として各チーム50～60試合の機会を確保

NPBチームと交流戦の機会

- NPB球団の3軍に対し、計56試合（25年度）を確保
- フェニックスリーグへIPBL選抜の一員として参加
- ドラフト候補選抜試合の機会を確保

これから注力すること

～NPB以外の出口の多様化～

韓国プロ野球（KBO）

- 2026年シーズンよりアジア枠の正式導入により機会が拡大

その他リーグ

- 台湾プロ野球（CPBL）やMLBマイナーリーグへの移籍実績
- 欧州リーグ（チェコ、スペイン、ドイツ等）への移籍の活性化検討

2026年度に向けて

Baseball Challenge League



BCリーグは今年、20周年という大きな節目を迎えます。この間、私たちは地域に根ざした球団として、野球を通じてまちを元気にし、地域の皆さまに喜びと誇りを届ける活動を続けてきました。また、リーグ全体で約300名の若い選手を預かる場として、NPBとは異なる価値を提供し、次のステージへ挑むための実戦機会と成長環境を整えてきました。

これからも、単なる野球リーグではなく、地域が抱える課題を共に解決する“共創パートナー”としての役割を強め、地域社会と野球界の双方に貢献し、BCリーグだからこそ生み出せる可能性を広げてまいります。

20年の歩みを力に、次の20年へ挑戦し続けます。

株式会社ジャパン・ベースボール・マーケティング

代表取締役 上野 馨太